

# 子どもたちと過ごしたこの1年

## 先輩たちの声

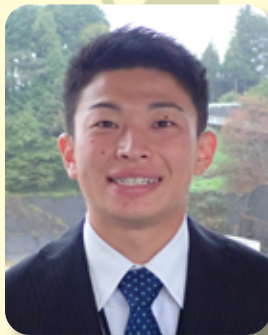
### 郡山南小学校 今井 菜々子



#### 「心のつながり」

4月、期待と不安でスタートした教員生活は、正直、思い描いていたものとはかけ離れていました。自分の無力さ、理想と現実のギャップに涙することも多々ありました。一番悩んだのは、「心のつながり」のもち方です。初めの頃はなかなか思いが通じないことも多く、心が折れそうになることもありました。それでも粘り強く向き合い続けるなかで、子どもの心に寄り添い、その子のすべてを受け止めることが、心のつながりをもつ一歩になることを学びました。このことを教えてくれたのは子どもたちです。子どもたちには日々、教員として、また一人の人間として大きく成長させてもらっていると感じます。私は今、教員になってよかったと心から思います。

### 榛原東小学校 出水 悠暉



#### 「ともに学び、挑戦する日々」

「小学校の先生になりたい!」という子どもの頃からの夢が叶い、児童との毎日が始まりました。教師としての日々は、「この授業をどうすれば児童が楽しく学ぶことができるのか?」と教材研究をしたり、「自分の思いが伝わるためにどのような工夫や仕掛けができるのか?」と学級経営を進めたりと試行錯誤することばかりです。そのなかで、児童が「わかった!」や「楽しかった!」と反応してくれた時が、一番の喜びです。児童と計画した学級イベントでの盛り上がりは、今でも忘れることができない思い出の一つです。

児童とともに喜び合うことを原動力に、これからも失敗を恐れず、新たなことに挑戦し、ともに成長し続けていく教師でありたいです。

### 白櫃中学校 緒方 菜帆



#### 「子どもを信じる」

“音楽って楽しい!”と感じてくれる子どもを育てたい”そんな思いで教師を志しました。初めはなかなか子どもたちとうまく関係を築くことができず、落ち込む日々でした。そんな未熟な私にも、子どもたちは「先生!」と笑顔で声を掛けてくれます。そんな子どもたちの顔を見て、「関係をうまく築けないのは、自分が子どもを信じていないからではないか。」ということに気がきました。それからは、子どもたちとの距離もだんだん縮まり、見方や考え方も変化していきました。子どもはたくさんの可能性を秘めています。そんな子どもたちの力を信じ、一人一人が輝ける学校を目指していきたいと思っています。